

こおりまち

議会だより

令和4年冬号 VOL.127

あけましておめでとうございませう

議会も町民皆様の無病息災と家内安全、
コロナの一日も早い終息を祈願しております

12月定例会 2

災害時の要配慮者への対応は
(一般質問 10名登壇) 4

「議会モニター」との意見交換会開催... 16

12月定例会

令和3年12月定例会は、12月7日から13日までの7日間の会期で開催された。提出された議案は、条例制定1件、条例改正4件、補正予算3件、継続審査結果報告、陳情1件、発委1件の計11件を可決した。

条例制定

◆条例の主な内容

○特定風評被害が農林水産業及び観光業等の経営に及ぼす影響に対処するため、県知事の指定を受け特定事業活動を行う事業者に対し、課税を免除する条例

- 1, 対象資産
活動用に供する新設又は増設した機械、建物、土地等
- 2, 免除期間
固定資産税を課すべきこととなる年度以後5年間

質疑 条例の内容から町内事業者も該当するのでは、またその周知策等の質疑がされた

条例改正

◆改正の主な内容

○就学指導審議会委員の小児科医、精神科医の報酬を近隣市町村との均衡を図るための改正
これまで審議会委員としての日額だったものを日額2万2,500円とする。

補正予算

一般会計(第5号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ2億4,024万5千円を追加し、予算総額を64億9,736万7千円とするもの。

◆主な歳入

- ・特別交付税 3,052万1千円
- ・災害等廃棄物処理事業補助金 1,856万9千円
- ・子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金 8,000万円
- ・地方創生臨時交付金 2,278万9千円
- ・町有地売却収入 3,275万円
- ・がんばるふるさと桑折応援寄附金 2,219万3千円
- ・財政調整基金繰入金 ▲556万3千円
- ◆主な歳出
- ・財産管理費 1,912万5千円 (旧睦合テニスコート売却に伴う国庫補助金返還 1,899万6千円 駅前倉庫 北駐輪場修繕 12万9千円)
- ・町有地売却収入 3,275万円
- ・がんばるふるさと桑折応援寄附金 2,219万3千円
- ・財政調整基金繰入金 ▲556万3千円

- ・社会福祉総務一般費 611万3千円
- ・住民税非課税世帯へ灯油券 (1,200世帯×5,000円 郵送料1,200世帯×94円)
- ・子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費 8,433万8千円 (0歳から中3生・12000人 高校生・400人へ5万円の現金給付 12月27日に振込み予定)
- ・新型コロナウイルス感染症予防事業費 1,435万6千円 (ワクチン接種費用 3回目及び5~11歳の1・2回目)
- ・農業振興対策事業費 789万円 (米価下落緊急支援事業 (米価あたり300円、①一俵あたり300円、②経営所得安定対策に取り組む農業者へ150円を①に上乘せ)450円)
- ・商工振興対策費4,000万円 (プレミアム商品券第2弾) 応募多数により追加販売 「GoToEatこおり」 食事券発行事業(率66・6%) 3,000円×2,000セット)
- ・職員人件費調整 ▲1,996万8千円

討論

反対 齋藤 松夫議員

反対の立場から討論する。それは本補正予算案の中に、事務執行上のミスによって生じた「睦合テニスコート売却に伴う国庫補助金返還金1,899万6千円が計上されていることである。

補助金返還はやむを得ざるものであるが、こうした事務執行上の過ちについて、町長から町民に対するお詫びの言葉がない。再発防止措置もないことである。よってこうした過ちを再び繰り返させないという立場から、本案に反対の態度をとるものである。

賛成 6 反対 4

国民健康保険特別会計(事業勘定)(第3号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ3,087万3千円を追加し、予算総額を13億6,938万1千円とするもの。

- ◆主な歳入
- ・県補助金 3,023万2千円
- ・療養諸費 2,800万円

・出産育児諸費 84万円

介護保険特別会計(保険事業勘定)(第3号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ430万1千円を追加し、予算総額を17億802万2千円とするもの。

- ◆歳入
- ・繰入金 28万8千円
- ・繰越金 401万3千円
- ◆歳出
- ・総務管理費 80万1千円
- ・特定入所者介護サービス等費 350万円

継続審査結果報告

陳情第5号

辺野古新基地建設の中止と普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

(委員会開会年月日)

令和3年10月12日、11月16日 (審査の結果) 不採択

陳情 審査結果

選択的夫婦別姓制度について国会審議を求める意見書を国に提出することを求める陳情

(陳情者)

伊達市月館町糠田字上ノ内39 選択的夫婦別姓・

全国陳情アクション 福島代表 石沢 和也

(審査委員会) 総務文教常任委員会

(審査結果) 採択(意見書)P20に掲載

請願・陳情とは

町民のみならずの意見や要望等を町政へ反映させる制度です。 ※請願・陳情書の作成・提出方法については議会事務局へお問い合わせ下さい。(電話582-2113)

12月21日の全員協議会で報告

5万円の追加給付を専決で ※子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費補助金 残り5万円分の追加給付を、12月15日専決処分をしたと報告があった。

議案審議結果表

令和3年第7回桑折町議会臨時会
○全会一致で可決の議案

| 議案名 | 討論者 | 議案名 | 討論者 |
|---------------------------------|-----|---------------------------|-----|
| 議案第45号 桑折町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 | | 発委第7号 桑折町議会会議規則の一部を改正する規則 | |
| 選挙第2号 公立藤田病院組合議会議員選挙について | | | |

○賛否の分かれた議案

| 議案名 | 議員名 | 岡本貴士 | 鈴木隆志 | 岩崎久男 | 齋藤松夫 | 佐藤武朗 | 齊藤 謙 | 羽根ハ千代 | 佐藤榮三 | 川名静子 | 半澤 高 | 原 賢志 | 議長 | 可否 |
|------------------------------|-----|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|----|----|
| 議案第51号 令和3年度桑折町一般会計補正予算(第5号) | | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ● | 欠 | ○ | ● | ○ | ○ | — | 可決 |

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 □：討論者

○全会一致で可決の議案

| 議案名 | 討論者 | 議案名 | 討論者 |
|---|-----|--|-----|
| 議案第46号 福島県特定事業活動振興計画に基づく町税の特例に関する条例 | | 議案第50号 桑折町国民健康保険条例の一部を改正する条例 | |
| 議案第47号 桑折町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 | | 議案第52号 令和3年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号) | |
| 議案第48号 桑折町税特別措置条例の一部を改正する条例 | | 議案第53号 令和3年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号) | |
| 議案第49号 桑折町地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例 | | 発委第8号 選択的夫婦別姓制度について国会審議を求める意見書(案) | |

※報告は採決なし

一般質問

10名登壇

町政を問う

- ◇一般質問は、質問者が事前に提出した通告書に基づいて、一人持ち時間60分で行われます。
- ◇内容は、質問者の責任において作成されたものを掲載しています。
- ◇質問項目は、通告によるものです。
- ◇一般質問の様子は桑折町議会ホームページで過去一年分までご覧いただけます。

| 登壇議員 | 質問項目 ◎印の質問の概要を掲載しています |
|---------------|--|
| 齊藤 謙 (5ページ) | ◎災害時に高齢者や障がい者等要配慮者への対応に関して ◎SDGsの町民一体となった取り組みの具現化に関して ・介護職や保育士、看護師等の処遇改善に関して ・公園内の遊具取り外しに関して ・福島圏域連携中枢都市圏形成に関して ・これからの幼児保育・教育のあり方等に関して |
| 佐藤 栄三 (6ページ) | ◎米価下落に対する支援策について ◎地域おこし協力隊事業について |
| 鈴木 隆志 (7ページ) | ・福祉避難所における専門人材確保について ・文化財及び町史収集資料の保護活用について ◎新型コロナワクチン接種及びインフルエンザ予防接種について ◎認定こども園の今後の対応について |
| 佐藤 武朗 (8ページ) | ◎ライブ配信で開催された「全国山城サミット桑折大会」の今後の展開について ・「福島圏域連携中枢都市圏形成」に向けた取り組みについて ◎未利用の町有財産の利活用について ・急速に進む高齢化社会で「高齢者が抱える課題」等について ・文化遺産周辺の「景観環境維持・保全」について |
| 川名 静子 (9ページ) | ◎「認定こども園」に関して ・地球温暖化対策に関して ・灯油券の配布に関して ◎「男女共同参画プランの策定」に関して |
| 岩崎 久男 (10ページ) | ◎政府の原発処理水対策評議会について ・都市計画法34条11号について ・幼保連携型認定こども園について ◎東京電力株に対する損害賠償請求について |
| 岡本 貴士 (11ページ) | ◎人生の最後まで(介護が必要になった場合でも)個人として尊重され、その人らしく暮らしていけるように ◎コロナ禍で急増する認知症、運動習慣が予防になります ・幼稚園・保育園が連携した「認定こども園」は、従来の保育園にはない利点があります。「保育時間が柔軟に選べる」、「保護者の就労の有無にかかわらず施設を利用できる」ことです。本町にも設置するべきではないでしょうか |
| 齋藤 松夫 (12ページ) | ・町長の選挙公約と旧蚕糸跡地利活用政策(商業施設と幼保連携型認定こども園誘致)について ◎保育所・幼稚園民営化政策に端を発する、桑折町教育大綱の改正及び、同大綱の桑折町の教育目標「15才のめざす姿」の改変について ・新総合計画(案)の幼保民営化方針に係る議会及び町民に対する事実を偽る説明・答弁について ◎旧役場庁舎敷地売却と、解体工事におけるアスベスト対策について ・水道事業ビジョンと簡易水道統合スケジュールの明確化について |
| 半澤 高 (13ページ) | ・新型コロナウイルス感染症対策とワクチン接種などについて ◎第49回衆議院議員選挙での投票率等について ・旧役場庁舎跡地開発について ・蚕糸跡地利活用について ◎エリザベスタウン市との姉妹都市交流について |
| 原 賢志 (14ページ) | ◎福島蚕糸地の利活用について伺う ◎本年度のふるさと納税について伺う |



齊藤 謙 議員

災害時の要配慮者への対応は 桑折町社協と契約締結した

問 当町は県内市町村支援人材の確保状況(3月末現在)未定となっているが、災害時の要配慮者確保等の体制は十分か。

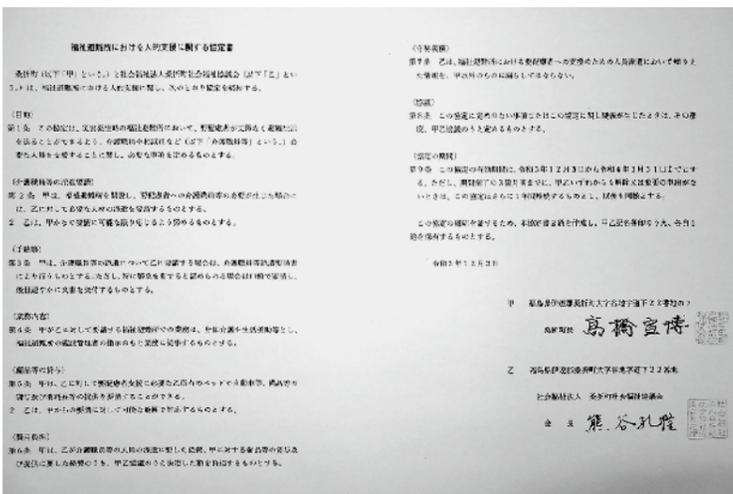
答 町長 桑折町社会福祉協議会と「福祉避難所における人的支援に関する協定」を改めて締結した。

問 内閣府の「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」において相談員は何名となっているのか。また、避難所とはどこになるのか。

答 町長 相談員は概ね10人の要配慮者に一人となっている。町保健師を中心に社協の協力も得ながら十分な体制を整えている。避難所はやすらぎ園となっている。

問 高齢者だけでなく、障がい者への対応も充分か。

答 町長 付添分も考慮した体制となっている。



しっかり守ります

醸中生等との懇談会を実施すべき 町民への説明会で意見等を聴く

問 「人間・地球・繁栄・平和・パートナーシップ」の5つのPへの対応を伺う。

答 町長 再生可能エネルギーに關しては、当町の諸条件等に合致しないケースが多く、進捗状況は予想外である。周知は町広報誌等で特集掲載、テレビや新聞での啓発活動等によって町民の認知度は高まっている。

問 着実な推進によって達成できる。本町はこれまで、「再生可能エネルギー推進の町」を宣言して今日まで取り組んできたが、その進捗状況などの程度になっているのか。

これも質問

- 問** 福島圏域連携は、各種事業への参画を慎重に
- 答** 各種事業への参画は各自自治体で選択が可能だ
- 問** 幼児保育・教育のあり方の十分な説明責任を
- 答** 町民への説明会を開催し、わかりやすく説明する
- 問** 公園の管理運営は協議会の設置を
- 答** 管理運営のあり方を検討し、善処していく



佐藤 榮三 議員

米価下落に対する支援策は 地方創生臨時交付金を活用し助成

問 コロナ禍の外食産業不振によるコメの市場在庫の増加でコシヒカリ一俵当たり支払い概算金が前年対比三千百円下落、さらに来春には肥料代、燃料代の値上げと稲作農家にとって、来年度の再生産、経営継続が容易でない状況にある、町独自の支援策はないものか。また、地元産米の消費拡大「献上桃の郷」の名をさらに広めるためにも桑折町産特別栽培米コシヒカリをふるさと納税の返礼品として加えてはどうか。

答 町長 地方創生臨時交付金を活用し、3年産出荷米一俵当たり三百円、さらに経営所得安定対策事業に取り組んだ農家に百五十円上乗せ助成する。米価下落にも対応できる収入保険に制度について周知を図り加入促進を図っていく。
ふるさと納税の返礼品については町産品のPRのためにも差別化でき、一定量の確保ができれば検討する。



天高く積まれた米・米・米……

地域おこし協力隊員の定住策は 就農につながるよう斡旋協力する

問 隊員の、就農、定住のための支援策は。

答 町長 新規就農するための大事な要件は①技術の習得②優良圃場の確保③機械等の初期投資④一定期間の所得補償の四点であると考える。これらを考慮し成功事例に結び付け基幹産業である農業を守っていききたい。

問 定住のためには住宅の確保、農地の確保が大切なことと考える。任期満了前から農家住宅を確保する事が出来ないものか、

答 町長 農地の確保については、昨年度より二十アール以上で農家要件をクリアできることから、研修中に受け入れ農家名義で成木圃の確保をして研修圃場として活用しながら就農につながる様に農業委員会としても斡旋協力していく。住宅についても早目の取得に向けた準備をして、終了時には住めるように手配していきたい。

認定こども園 町民に対する説明は 町民の皆様に機会を捉え説明する



鈴木 隆志 議員

問 令和3年9月15日付け「保育所の運営形態が変わります」とのお知らせについて、町民から説明がなく詳細がわからないとの声があった。今後どのように周知していくのか。

答 町長 認定こども園については、お知らせ文書を各戸配布すると共に、保育所及び幼稚園の保護者に直接お配りして、内容の周知を図った。
間もなく、配置や施設概要等

が決定されるので、速やかに広報こおりや町ホームページ等を活用して周知する。特に一番影響を及ぼすべき若い世代を中心に随時丁寧な情報提供に努め説明していく。

コロナもある程度落ち着いており、今の状況であれば、町民の皆様が集り頂いての説明会開催も可能と考えている。今後、しっかりと説明を進めていく。



蚕糸跡地、認定こども園の今後の運営は

ワクチン接種対象者への周知徹底を 接種目的・効果等十分な情報を提供する

今後、未接種者への対応及び3回目の接種、5歳から11歳までの接種が予定されていることから次の点について伺う。

問 未接種者に対する接種の周知及び接種証明の対応は。

答 町長 すべての町民に周知意思確認できるよう努めていく。また、今後ワクチン予防接種済証の保管と接種証明書の作成方法について情報提供していく。

問 ファイザー製以外の接種が予測される3回目の接種に向けての対応は。

答 町長 異なるワクチンに対する不安解消に向け周知に努めると共に、ワクチン選択希望扱いについて検討していく。

問 5歳から11歳までの接種は。

答 町長 厚生労働省の指示が発出され次第、幼稚園・小学校を通して保護者に情報提供していく。

これも 質問

問 福祉避難所^{※1}での要配慮者^{※2}への対応は

答 町保健師と社会福祉協議会で対応する

問 町史編纂借用資料の保管借用意向確認は

答 今後、所有者に寄託継続・寄贈意向を確認する

用語

※1「福祉避難所」とは、一般の避難所で過ごすことが困難な「要配慮者」を受け入れ、生活上必要な介護や支援を提供できる体制が整った避難所。

※2「要配慮者」とは、高齢者や乳幼児、妊産婦、傷病者、障害者等で介護や支援を必要とする者。



佐藤 武朗 議員

次年度以降の町独自の開催は町独自の関連イベントを開催する

5年の期間で「桑折西山城跡」を整備してきた。コロナ禍の影響により、ユーチューブにて全国に「全国山城サミット桑折大会」を配信し、大変評価を得たものと思う。今後において「歴史探訪者の増加」等を指すとともに、交流人口の拡大に繋げる、今後の展開について次の点を伺う。

問 次年度以降、整備した史跡を活用した町独自イベント開催の実施は。

答 町長 山城サミットの開催や「NHKBS」での特集番組放映を契機に、着実に来訪者が増加している。独自の関連イベントを実施し、「賑わい創出」や「交流人口」の拡大に繋げていく。

問 継続的な景観維持のための管理方針は。

答 町長 「全国山城サミット桑折大会実行委員会」を母体に新たな組織を立ち上げ維持していく。

問 地域資源を活かした回遊、経済対策は。

答 町長 町内を回遊できる方策、パンフ等を作成していく。



多くの来訪者が期待される

未利用財産の民間ノウハウ活用を民間事業者の知恵等を活用する

問 本町の「未利用の町有財産」を活用しないままでは税金の無駄遣い。利用が可能か不可能かの判断は行政だけではなく、民間のノウハウ等を最大限に活かせる「プロポーザル方式」等の採用を図るべきと考えるが所見は。

答 町長 「プロポーザル方式」は価格だけで選定する通常の入札とは異なり、発注者の意向、方針に沿った企画・提案について、総合的に最も優れた業者を選定し、協議の上事業をさらに進化させながら進める利点がある。今後においても、まちづくりに有効な未利用財産については、民間事業者のもつ知恵と資力、スピード感を活用した本制度を活用していく考えである。

これも質問

- 問** 福島圏域連携中枢都市圏形成に向けた所見は
- 答** 「魅力的なまちづくり」を推進していく
- 問** デジタル化を高齢者に進める課題と方策は
- 答** 地域・家族を含めた若い世代のサポート体制を
- 問** 旧伊達郡役所周辺の「特別用途地区」の設定は
- 答** 最も適した制度の研究を進める

ジェンダー平等への取り組みは若者意見を重視し第3次の計画で

本町の「男女共同参画プラン」10年の計画が終わる。国は第5次、町は第2次。どうつめるか。

問 2次10年間の成果と課題は。

答 町長 広報紙への掲載企業訪問等啓蒙活動に努めた結果、世代を超え平等の意識が徐々に高まってきた。今後「女性活躍」「男女平等」「ワーク・ライフ・バランス」を当たり前の基準にする必要がある。次年度現状の課題解決に向け改訂する。

問 「女性活躍推進法」の生かし方は。

答 町長 第2次の総括を踏まえ女性を取り巻くコロナ禍での現状と課題、男女共同参画の裾野を広げられる計画内容、若者の意見を反映させ第3次を策定していく。

教育方針は町の宝ではないか理解頂くよう協議している

「認定こども園」については、多くの町民から「なぜ？」と問われた。公設と民設がある事で公正な競争が成り立ち教育効果が出るのではないかと。再度伺う。

問 次年度の勤務意向の結果は。

答 町長 ほとんどの保育士が勤務を希望し影響はない。

問 全保育士が雇用されるのか。

答 町長 正規職員は幼稚園等へ配置を転換し、希望する任用職員の受け入れは松葉福祉社会と合意している。

問 現在の園児数は示された募

集人数では入所できない園児がいる。今頃定員の検討か。

答 町長 町方針である待機児童ゼロの堅持を前提に検討している。

問 園長はそれぞれか。

答 教育長 設置者が異なるためそれぞれの配置となる。

問 なぜ認定こども園の教育方針が出せないのか。資料の説明もない。選択できない。

答 教育長 方針は設置者が決める事だが相互連携の効果を期待し理解頂くよう協議している。



子どもたちの声が消えていく

これも質問

- 問** 待ったなしの地球温暖化防止へどう取り組む
- 答** ごみ排出量抑制や4Rを推進し循環型社会へ
- 問** コロナに耐えた町民全てに灯油券を配布しては
- 答** 非課税世帯(約1200世帯)に配布する

4Rとは、再資源化(リサイクル) 再利用(リユース) 排出抑制(リデュース) 発生回避(リフューズ)



川名 静子 議員

FAX 024-582-2454 議会だよりアンケート回答用紙

このアンケートは、「議会だより」冬号をご覧になってのご感想をお寄せください。より良い「議会だより」発行へ役立てさせていただきます。

締め切り：令和4年2月10日(木)

提出先：・お近くの議員に渡す

・FAX 送信番号 024-582-2454

・お手数ですが議会事務局（町役場3階）までご持参願います。

| | | | |
|--------|-----------------------------------|--------|--------------------------------------|
| 氏名(任意) | | 年齢 | 10代・20代・30代・40代 50代・60代・70代・80代以上 |
| 性別 | | お住まい地区 | 桑折・半田・伊達崎・睦合 |
| 職業 | 会社員・パート アルバイト・公務員・会社役員・自営業・学生・その他 | | |

問1) 「町議会だより」（年4回発行）を読んでいますか？（いずれかに☑）

必ず読んでいる ときどき読んでいる

問2) 1. 「町議会だより」の掲載内容で特によく読まれる項目は何ですか？

一般質問 定例会の主な議案の概要 閉会中の議会活動

その他（ ）

2. 紙面構成や内容（文章・見出し・写真等）の印象はいかがですか？

良い 普通である あまり良くない

3. 色・文字の大きさ・ページ数・紙質はどうですか？

現在のままでよい

変えた方がよい（色・文字の大きさ・ページ数・紙質）

問3) その他：「町議会だより」へのご意見・ご感想があれば自由にお寄せください。

ご協力ありがとうございました。

※ご記入いただきましたアンケートは、今後の議会だより編集の研究・統計に利用する場合がございます。個人情報となる氏名などは厳正に管理し、一般公開することは一切ございません。



岩崎久男議員

政府の原発処理対策は 地元意見を反映させることだ

問 十一月二十二日政府は、「廃炉、汚染水、処理水対策、福島評議会を開催」東京電力福島第一原発の処理水の海洋放出方針に伴う、全庁横断による、行動計画の素案を示した。政府方針に対する合意形成に向けた取り組みや風評抑制を含む事業継続の支援策が盛り込まれたが、出席者からは不十分さや、見直しを指摘する声が相次いだ。関係団体への丁寧な説明を加速し、意見を反映しながら事業者が安心して事業を継続出来る実効性

のある行動計画を作って欲しいと求めた。県漁連の会長は、海洋放出は断固反対と表明されたが、町長の所見を伺う。
答 町長 処理水の海洋放出については、農林水産業や観光業の事業者を始め、県内自治体等の関係者に対し、丁寧な説明を行い、理解を求めていく。実施する場合には、万全の風評対策を講ずることはもとより、風評被害に対しては、責任を持って、被害の実態に合った賠償が行われるべきものと考えている。



賛同をお願いします

これも質問

問 都市計画法34条11号についての区域変更の結果は

答 同意の署名の手続きに着手した

問 釀芳幼稚園の今後は

答 保護者に評価されるよう運営してゆく

都市計画法34条11号とは、市街化調整区域の区域を指定することで農家以外の方でも建築可能になる制度

東電(株)に対する損害賠償請求は 粘り強く交渉を継続する

問 現在までの損害賠償の総額、損害賠償請求額については、総受領額はいか程か。
答 町長 今後とも原発事故の原因者である東京電力(株)に対して責任を果たし、完全賠償に応じるよう引き続き粘り強く交渉して戴きたい。所見を伺う。
問 現在までの賠償金受領額は、7億200万1,603円であり、現在までの賠償請求額は、7,936万4,371円である。今後については、令和2年度に係る損害賠償請求を行うとともに、未賠償分について、粘り強く交渉を継続してゆく。



岡本貴士議員

認知症予防に対する取り組みは 運動教室やサロン活動、減塩教室へ

週3回以上の早歩き

アルツハイマー型認知症
発症危険度が50%減

出典：認知症予防・支援マニュアル（厚労省）

～ 運動は、やっぱり効果的ですね ～

問 認知症患者は年々増加している。その数は2050年には1016万人になり、65歳以上の高齢者のうち約28%が認知症になると推計されている。認知症には、運動習慣が予防になりうるといわれているが、本町の認知症予防に対する取り組みを伺う。

答 町長 糖尿病・高血圧・肥満・社会的孤立が大きな要因であることから、運動習慣や生活習慣を見直すことが重要である。予防対策として、「いきいき百歳体操」などの運動教室やサロン活動、生活習慣病の予防・治療、食生活改善に繋がる減塩教室などに取り組んでいる。

問 人生の最後まで、個人として尊重され、その人らしく暮らしていくことは誰もが望むものである。高齢者介護においても、日常生活における身体的な自立の支援だけでなく、精神的な自立を維持し、高齢者自身が尊厳を保つことができるようなサービスが提供される必要があると思うが、本町の取り組みを伺う。

人生の最後まで、その人らしく 住み慣れた地域や家庭で

答 町長 高齢者介護については、地域包括ケアシステムの深化・推進を通じて、住み慣れた地域や家庭で自分らしい生活を最後まで続けることができるよう、取り組みを進めている。地域包括支援センターを通じて、ケアマネジャーや社会福祉士などの専門職が協働し、本人が望むサービスの提供に努めている。



ご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

「議会だより 秋号」にて、ご意見やご感想を頂き、その中から、いくつかをご紹介します。今後とも皆さんとの意見交換を大切にしていきます。

声 各自のPC、スマホ等での傍聴者数の把握は。(80代女性)

答 しっかりお読みいただきありがとうございます。公共施設での傍聴以外の人数は把握しておりません。簡単に見られる方法等、できるところから検討していきます。

声 「陣屋の杜」公園の遊具を取り外し、新しく設置するのか。(70代男性)

答 12月定例会の質問で、遊具の取り外しについて「歴史観光機能基本構想策定業務委託」の中で検討するとの回答です。

声 認定保育園の事など、議長さんから、決定した経緯について詳しく伺いたい。丁寧に説明をお願いします。(60代女性)

答 「議会だより」秋号に各議員の考え方を載せました。これからもわかりやすい編集に工夫していきます。

声 「これも質問」はもうすこし内容を書いて。「SDGs」取り組みの具体化→(答)中学生の声を真摯に受け止め具体化とは何か。(70代男性)

答 字数に制限がありますが、表現を工夫してみます。SDGsへの具体的な取り組みについてはこれから中学生の考えも含め取り組んでいきたい。

声 町のことがよくわかります。「あれ!!」というところもあってがっかりしています。町は学校教育を充実させてほしい。(70代女性)

答 各議員共、真摯に向き合っています。「議会だより」を通して議会の内容を知らせていきます。

声 町政が解る事、問題になっている事を考えるのに議会だよりが良いと思います。(70代女性)

答 しっかりお読みいただきありがとうございます。伝わる紙面づくりをさらに工夫していきます。

声 若者に関心を持たれるような紙面づくりを。(70代女性)

答 ご指摘ありがとうございます。努力します。

声 町の方向性を見る事が出来るので良いと思います。町政に関しては？が最近多いです。(70代女性)

答 議会内容を一早くお伝えしています。各議員共、しっかりと取り組んでいます。

声 議会へ行けないので議会だよりを拝見しています。今後共宜しくお願いします。(70代男性)

答 議会内容を忠実に編集しています。ご自宅ゆっくりお読みいただければと思います。

声 今どのような思案が問題浮上しているか、町政の様子も知る事ができます。(70代女性)

答 関心を寄せていただきありがとうございます。

声 子育てや教育に関しては公営が望ましいと思う。議論を重ねてほしい。(70代男性)

答 ご意見をいただき、今後も議論を公平に伝えていきます。

声 町民のための議会だよりです。視覚にうったえる表現は、一般の者も理解できる。わかりやすいのが大切。(70代女性)

答 いつもお読みいただきありがとうございます。これからもわかりやすく伝わる紙面に努めます。

声 字が小さくて読むのが疲れる。(70代女性)

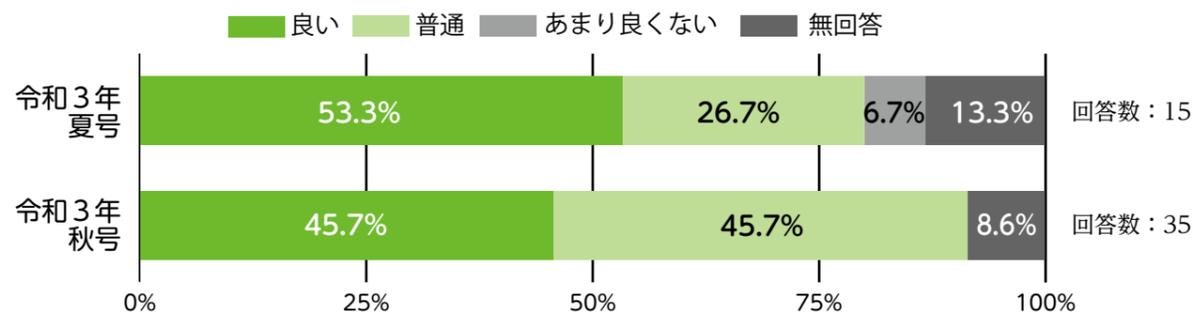
答 申し訳ありません。一度に全部は変えられませんが、できるところから変えていきます。

声 各委員会の活動がわかり大変良いと思う。こども園の新設は順序を経て議会、町民合意の上で決めて戴きたい。(80代女性)

答 各委員会の励みになります。取組内容を公平に掲載していきます。

アンケートの集計結果のご紹介(一部)

(質問) 「町議会だより」の紙面構成や内容の印象はいかがでしょう?



これも質問

問

利便性の高い「こども園」を設置するべき
令和6年4月の開設に向け支援する



齋藤 松夫 議員

旧庁舎にアスベスト本当はないか アスベスト出れば業者と協議

問 旧役場庁舎敷地売却・解体工事」のプロポーザル実施要領で、「敷地内アスベスト不使用を確認済み」としたが、この確認済みとは平成2年4月1日時点の調査と解して良いか。東日本大震災後、同じ調査で「不使用」と確認された「町福祉センター」から、アスベストが発見された事実があるではないか。

答 町長 「アスベスト使用状況確認済み」の内容は、お質しの通りである。もし、アスベストが出た場合は、業者と協議することとなる。



ないはずのアスベストが出た福祉センター

問 このたびの改正教育大綱は、した理由は、幼保民営化方針に教育目標として「15才のめざす姿」を掲げてはいるが、これまでであった「保育所・幼稚園から小学校・中学校までの育ちと学びの一貫性を大切にした教育の推進」の文言がなくなってしまう。これは明らかに「15才のめざす姿実現」に対する、町と教育行政の役割と責任を後退させるものとなる。そのように

答 町長 「15才のめざす姿」については、新教育大綱においても、乳幼児保育・教育や学校教育の推進を通して実現するものとしており、従来の方針に変更はない。

新教育大綱は明らかかな後退だ 従来の方針に変更はない

これも質問

問 蚕糸跡地利用は一旦凍結を
答 理解を得て肅々と進める

問 町のチラシは事実と相違
答 矛盾した説明はしていない

問 水道ビジョンに計画なし
答 事業費検討後に明確化

若年層の投票率向上対策は 先進事例を参考に研究したい

問 10月31日に投票された第49回衆議院議員選挙について桑折町での10代、20代の投票率が低かったが、対策はとられたのか、また今後の投票率向上策は。

答 選挙管理委員会委員長 「投票立会人」については、若年層を対象とした公募について検討する。「選挙割」については、事業者が取り組む営利活動であり公職選挙法に則り行う選挙は、公平・公正であるべきことから選挙啓発運動と分けて考える必要がある。

問 以前の一般質問にて「投票立会人に若者を」と「選挙割」について提案したが選挙管理委員会での協議等はあったのか何う。

答 選挙管理委員会委員長 「投票立会人」については、若年層を対象とした公募について検討する。「選挙割」については、事業者が取り組む営利活動であり公職選挙法に則り行う選挙は、公平・公正であるべきことから選挙啓発運動と分けて考える必要がある。



半澤 高 議員

エリザベスタウンとの交流は 見直す時期に来ている

問 1992年にエリザベスタウン市と姉妹都市提携を結び約30年になるが、今後の交流についてどのようを考えているのか。また、30周年の記念碑を建てる考えは。

答 町長 エリザベスタウン市との交流については、これまで

問 地元のサポートにより進めてきたが、現在の困難な状況を踏まえ、30年を一つの区切りとして見直す時期に来ている。記念碑建立については、計画していないが、交流の証となる記念品等の展示について検討したい。



エリザベスタウン市との姉妹都市提携締結の看板

これも質問

問 ワクチン・検査パッケージに関する情報は
答 今後、国・県より具体的に示される

問 旧役場庁舎跡地開発の進捗状況は
答 所有権移転登記を11月16日に完了した

問 蚕糸跡地活用についての町民説明は
答 広報こおりや町ホームページ等を活用して



原 賢志 議員

蚕糸跡地の今後は 商業施設は令和5年秋開業

問 福島蚕糸跡地の利活用について、進捗状況と今後の予定について伺う。

答 町長 商業施設については令和5年秋開業、認定こども園については令和6年4月開園予定である。町としては、町民の利便性向上や賑わい創出、更には人口増加に向け、しっかりと事業推進に向けサポートしていきたい。商業施設内に町が独自に目的を定め使用することができ100坪のパブリックスペースが確保される。併せて地元小売店の商品や農産物を取り扱うコーナーも設置される予定である。また、地元の個人事業主による移動販売も実施したいとのことである。全店舗で地元商店の商品販売を行うなど商工会と連携し共生していきたいとの意向である。



蚕糸跡地の利用予定図

ふるさと納税の実績と今後は 返礼品の拡充とPRに努める

問 重要な自主財源である「ふるさと納税」について、本年度の実績と評価及び今後の対応について伺う。専門農協と民間企業により開発が検討されている王林を原料とした6次化商品や特別栽培米、加工品を含むロイヤルピーチポーク等を本町のブランド品としてPRすると共に返礼品の充実を図るべきではないか。

答 町長 初めて1億円を超える見通しである。これまでの返礼品の充実やポータルサイトの追加等に取り組んできた成果と捉えている。返礼品の調達による地域経済への活性化にも貢献していることから、引き続き魅力ある返礼品の拡充と制度の更なる周知を図りながら、納税額の一層の確保に努めていきたい。返礼品を広くPRしていくことで、商品の販路拡大にもつなげていきたい。

委員会活動報告

総務文教 常任委員会

委員長 斉藤 謙

当委員会は継続審査としていた辺野古新基地建設の中止等に関する陳情は、全会一致で不採択とした。また、選択的夫婦別姓制度の国会審議を求める陳情は慎重審議の結果採択とした。幼児連携に関する協議は、全議員で協議すべきであるとして、全員協議会で特別委員会設置を提言するも、調査事件として挙げていた総務文教常任委員会で検討すべきとのことで、特別委員会設置とはならなかった。

SDGsに関しては、「桑折町再生可能エネルギー導入計画」(平成29年3月)策定及び「桑折町新エネルギービジョン」(平成23年1月)策定の担当からの進捗状況を確認しながら、町民一体となった取り組みを研究検討していくことになった。

産業厚生 常任委員会

委員長 佐藤 榮二

当委員会では、閉会中の所管事務調査事件として、「新規就農者の確保について」の調査を進めている。地域就農の維持には、地域おこし協力隊だけでは難しいことから地元新規就農者の実態調査等が必要である。今後、新規就農者の確保には何が必要で、どうすればよいかを含めた総合的な対策を調査・検討していきたいと考えている。



—技術の継承—

議会運営委員会

委員長 半澤 高

議会運営委員会では、桑折町議会基本条例第20条に基づいた検証について、「公聴会制度利用」、「総合計画審議のあり方」、「議員の成り手不足解消」の3点を先進地事例等を参考に調査してきた。調査結果については、3月定例会にて以前の調査の結果も含め、委員会調査報告を予定である。

また、閉会中の所管事務調査に「予算決算の審議のあり方」を調査事項として加えた。3月定例会での予算審議および9月定例会での決算審議について他町議会事例をもとに効率的な審議のあり方を調査する。

新型コロナウイルス 感染症(COVID-19) 対策調査特別委員会

委員長 斉藤 謙

当委員会はこれまで19回開催し、①医療体制、②教育環境、③防災(避難所)、④福祉政策、⑤産業の5項目について調査・検討してきた。予断を許さないオミクロン株等への対応策の徹

町村議会議員研修会

10/20

とうほう・みんなの文化センター



中村 健氏

底を町民各位のご理解とご協力を頂きながら、町民の安全・安心の確保に努めていきたい。な

お、今年度中に行政へその施策等に関して、議会として、要望・提言を行っていく予定である。

県町村議会議長会が主催する研修会が開催された。

初めに「住民から信頼される議会になろう」と題して早稲田

大学マニフェスト研究所事務局

長の中村健氏が講演した。

講演で、印象が残った内容は

「議会とはこういふものだ」と

刷り込まれていないですか。

「住民の声を聴く」あなたが聴

いている住民とは誰ですか。



広報広聴常任委員会

委員長 川名 静子

コロナ禍で本委員会の活動は制限されましたが、当初計画通り「議会モニター」との意見交換会は実施する考えでした。

県内での感染者ゼロが続いた。夜間開催のため、全員出席ではなかったが12月1日実施した。より良い地域社会にするためには、町民の意見を吸い上げて町政に反映させていく。その一つ

議会モニターとの意見交換会



として、皆さまから意見やアンケートを頂いています。

「議会モニター」の皆様にも議会の応援団として活動をお願いしております。率直な意見、厳しい意見・提案等、顔を合わせたの良さ、有意義な会議であった。質問には回答しながら進めたが、要約した内容の一部です。

浅野まゆみモニター

・初めて傍聴したが一般だとなかなか機会に恵まれないのでは。生で見ること、「議会だより」を読む時その様子が浮かぶ。傍聴されるような工夫が欲しい。アンケートの集計率は何か。

川村滋道モニター

・仕事柄、雇用の問題に関心がある。他町では資格を持っていないながら正職で働けない。桑折も同じなのは。パートも含め、当事者たちの声、職員の不安、想いを聞く事も必要ではないか。来年から子ども達もネットで調べる環境にある。議会もQRコードからアクセスし易いようになればよい。

佐々木明モニター

・総合計画の中での議論は、10年後のまちづくりはどうなっているのか読み取れない。編集に偏りがあつたのではないか。発行責任者、編集委員の意見を。また、賛成討論者の意見も聞きたい。

編集委員長

・定例会の中で多くの議論をされた案件を重視した。偏りがあつたとは思わないが、平等に扱うよう努める。

発行責任者

・各議員の意志決定の結果だ。また、ページを増やす等して、感じられない書き方の工夫も必要だ。賛否の個人的な討論は、この場でなく直接本



人に聞いて欲しい。

・モニターの見聞聞き提言に繋げるなら、必ず出してもらう、それを担当が回収するようにしてはどうか。議会は遠慮していることがある。

戸守モニター

・町民の意見が反映されていない。大部分の町民がこの施設に係わってきた。理解しない内に進んでいる。チェック機能が果たされていないのではないか。

吉田良崇モニター

・「議会だより」が届いても表紙のみで読まれず捨てられる。町民との間が、出来る範囲で縮まる議会・議員活動を行って欲しい。

渡辺久夫モニター

・「議会だより」が伝わっているのか。もう少し柔らかめでも。議会活動を町民に伝えることが本来の議会モニターの仕事なのでしょうか。

・「議会だより」が届いても表紙のみで読まれず捨てられる。町民との間が、出来る範囲で縮まる議会・議員活動を行って欲しい。

冬号から担当します

「議会だより」の編集委員が12月定例会終了後から交代しました。伝える、伝わる難しさに頭を悩ませながら、一か月以内発行を目指しお届けします。



令和2年度 一部事務組合への町負担金

単位：千円

Table with 6 columns: 区分, 令和2年度, 令和元年度, 平成30年度, 平成29年度, 平成28年度. Rows include 公立藤田総合病院, 伊達地方消防組合, 伊達地方衛生処理組合, and 合計.

一部事務組合とは 行政の能率化、効率化を図るため、特定の事務を関係市町村で共同処理する方式です。

公立藤田病院組合

選出議員 齋藤 松夫

羽根田八千代 齋藤 謙

令和4年4月から口腔外科が開設

福島県は医師少数県に位置づけられておりますが、県は新人医師の確保策として、一定期間県内で勤務すれば修学資金返済を免除する等を実施している。令和4年度の状況は、公立藤田総合病院は6名の募集に対して6人が応募し充足率は満たしている。また、当病院は「ひざ関節痛の最新治療法として、MaKo(メーカー)最新鋭の手術支援ロボットを導入し、大変好評です。

伊達地方衛生処理組合

選出議員 半澤 高

岩崎 久男

指定廃棄物を令和4年2月から搬出

令和3年10月27日開催の定例会では各会計決算認定3件、補正予算案3件、監査委員選任同意の計7件の議案が上程され、すべて全会一致で可決した。なお、本会議前の全員協議会において「環境省による指定廃棄物の搬出」について事務局より説明があった。清掃センターに保管されている指定廃棄物(8,000ベクレル以上の焼却灰、飛灰)について清掃センターの北西側に施設を作り搬出するとの事に練り越した。

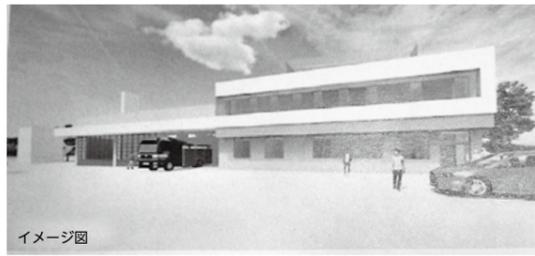
伊達地方消防組合

選出議員 川名 静子

佐藤 武朗

西分署は今の場所で改築に

令和2年度の決算には、救急車一台購入と西分署建設用地取得が主な支出だ。また、職員の年齢が若年化したことで人件費、扶助費が増になった。西分署改築工事については、令和3年度中に実施設計が終わる予定である。業務を続けながらの改築となり、令和5年夏ごろに完成の予定。また、障がい者、外国人への緊急対応も取り組んでいる。



イメージ図

福島地方水道用水供給企業団

選出議員 片平 秀雄

収益的収支(消費税抜き)は、水道用水供給事業収益43億1,472万3,944円に対し、水道用水供給事業費用44億8,590万3,623円で、収支差し引き額1億7,117万9,679円が当年度純損失となり、前年度繰越欠損金14億7,537万2,595円に当年度純損失を加えた16億4,655万2,274円を、未処理欠損金として翌年度に繰り越した。資本的収支(消費税込み)は、資本的収入は無く、資本的支出が19億9,302万4,316円となり、資本的収入額が資本的支出額に不足する額19億9,302万4,316円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額7,642万2,260円及び過年度分損益勘定留保資金19億1,660万2,056円で補てんした。

議員活動状況報告書

令和3年9月23日～12月13日

| 年月日 | 活動状況 | 内 容 | 対 象 者 |
|-----|-------------------------------------|---|-----------|
| 9 | 24 総務文教常任委員会 | コロナ禍における教育行政(学校教育・社会教育)について | 選出委員 |
| | 例月出納検査 | 定期検査 | 監査委員 |
| | 27 広報広聴常任委員会 | 議会だより編集会議 | 選出委員 |
| 9 | 27 全国山城サミット桑折大会実行委員会委員長・副委員長会議 | 全国山城サミット桑折大会の開催方法について、第28回全国山城サミット桑折大会運営計画について | 議 長 |
| | 29 第4回全国山城サミット桑折大会実行委員会 | 全国山城サミット桑折大会の開催方法について、第28回全国山城サミット桑折大会運営計画について | 議 長、副 議 長 |
| 30 | 議会全員協議会 | 9月定例会の総括について、議会運営委員長からの報告 | 全 議 員 |
| 1 | 桑折町表彰事案審査委員会 | 表彰候補者審査 | 議 長 |
| | 広報広聴常任委員会 | 議会だより編集会議 | 選出委員 |
| 5 | 議会運営委員会 | 9月定例会の総括について | 選出委員 |
| 6 | 福島圏域議会議長連携推進協議会 | 令和3年第1回オンライン会議講演、情報、意見交換 | 議 長 |
| | 広報広聴常任委員会 | 議会だより編集会議 | 選出委員 |
| 7 | 令和3年10月福島県市町村総合事務組合議会定例会 | 副議長の選挙、令和2年度福島県市町村総合事務組合歳入歳出決算の認定について、市町村職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例 | 議 長 |
| | 福島県町村議会議長会 | ふくしまの復興・再生に関する特別決議に基づく東京電力への要求活動 | 議 長 |
| 8 | 桑折町小・中学校「税に関する作品コンクール」審査会 | 作品審査会 | 議 長 |
| | 広報広聴常任委員会 | 議会だより編集会議 | 選出委員 |
| 8 | 議会全員協議会 | 旧睦合テニスコート売却に伴う国庫補助金の返還について、「桑折かわまちづくり整備事業」の進捗状況について、常任委員会の移籍について、議会運営委員長からの報告 | 全 議 員 |
| | 福島県町村議会議長会正副会長会議 | 理事監事合同会議提出事項について | 議 長 |
| 12 | 福島県町村議会議長会理事・監事合同会議 | 会長代理副会長の順序について、令和2年度一般会計決算の承認について、全国町村議会議長会「町村議会表彰」の推薦について、令和2年度会務報告について | 議 長 |
| | 総務文教常任委員会 | コロナ禍における教育行政(学校教育・社会教育)について、継続審査協議 | 選出委員 |
| 3 | 第18回新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策調査特別委員会 | 経済的支援と生活支援の要望について | 選出委員 |
| | 議会運営委員会 | 欠席に関するルールについて、桑折町議会業務継続計画見直しについて | 選出委員 |
| 10 | 17 ロイヤルピーチポーフ完成試食会 | 完成試食会 | 議 長 |
| 20 | 町村議会議員研修会 | 講演会(住民から信頼される議会になろう、今後の政局・政治展望) | 全 議 員 |
| | 21 伊達郡町村議会議長会要望活動 | 第16回伊達郡町村議会議員大会決議事項等に係る要望活動 | 議 長 |
| 22 | 全国山城サミット桑折大会実行委員会委員長・副委員長会議 | 全国山城サミット桑折大会の進行について | 議 長 |
| | 令和3年度桑折町小・中学生「税に関する作品コンクール」表彰式 | 表彰式 | 議 長 |
| 25 | 例月出納検査 | 定期検査 | 監査委員 |
| | 広報広聴常任委員会 | 議会報告会・意見交換会中止に伴うアンケート実施のための内容検討について | 選出委員 |
| 26 | 議会全員協議会 | 歴史観光機能基本構想策定業務について、汚染状況重点調査地域の指定解除について、桑折町教育大綱及び桑折町教育振興基本計画について、桑折町都市計画審議会委員の選出について | 全 議 員 |
| | 公立藤田病院組合議会全員協議会 | 令和3年第2回藤田病院組合議会議事日程等について | 選出議員 |
| 27 | 令和3年第2回公立藤田病院組合議会定例会 | 令和2年度公立藤田総合病院組合議会事業会計決算認定について、羽根田八千代君の議員辞職の件 | 選出議員 |
| | 伊達地方衛生処理組合議会全員協議会 | 令和3年第3回組合議会定例会提出議案について | 選出議員 |
| 27 | 令和3年第3回伊達地方衛生処理組合議会定例会 | 令和2年度一般会計(し尿処理事業特別会計・ごみ処理事業特別会計)決算認定について、令和3年度一般会計(し尿処理事業特別会計・ごみ処理事業特別会計)補正予算、監査委員の選任につき同意を求めるとについて | 選出議員 |
| | 伊達地方消防組合議会全員協議会 | 令和3年第4回組合議会定例会議事日程等について | 選出議員 |
| 27 | 令和3年第4回伊達地方消防組合議会定例会 | 令和2年度伊達地方消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について | 選出議員 |

| 年月日 | 活動状況 | 内 容 | 対 象 者 |
|-----|-------------------------------------|--|-----------|
| 10 | 28 全国山城サミット桑折大会実行委員会 | 全国山城サミット桑折大会の進行について | 正副議長 |
| | 29 交通事故死亡ゼロ三千日表彰伝達式 | 表彰伝達式 | 議 長 |
| | 30 全国山城サミット桑折大会 | 桑折大会 | 議 長 外 |
| 10 | 31 全国山城サミット桑折大会 | 桑折大会 | 議 長 外 |
| | 4 鳩町議会行政視察 | 新庁舎建設事業について | 議 長、副 議 長 |
| 4 | 議会全員協議会 | 公立藤田総合病院組合議会議員の選出について、タブレット端末導入について | 全 議 員 |
| | 6 桑折町文化祭 | 桑折町文化団体連絡協議会加盟団体の展示、芸能・ダンス発表 | 議 長 |
| 8 | 福島圏域議会議長連携推進協議会 | 令和3年第2回オンライン会議福島圏域連携中核都市圏形成に係る圏域首長会議の結果について | 議 長 |
| | 広報広聴常任委員会 | 議会と議会モニターの懇談会について | 選出委員 |
| 11 | 議会全員協議会 | 福島圏域における連携中核都市圏形成について、タブレット端末導入について | 全 議 員 |
| 12 | ふくしま駅伝桑折町チーム選手壮行会 | 選手壮行会 | 議 長 外 |
| | 総務文教常任委員会 | 継続審査について、SDGs等調査事件の調査内容に関して | 選出委員 |
| 16 | 議会運営委員会 | 欠席に関するルールについて、桑折町議会業務継続計画見直しについて | 選出委員 |
| | 令和3年度桑折町表彰式 | 町表彰式 | 議 長 外 |
| 19 | 第19回新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策調査特別委員会 | 調査項目の5項目について、今後の調査項目の目的等に関して | 選出委員 |
| | 議会全員協議会 | 「新桑折町教育大綱」に対する質疑応答、タブレット端末について | 全 議 員 |
| 22 | 総務文教常任委員会 | 特別委員会設置の必要性について、令和4年度の常任委員会視察研修について | 選出委員 |
| | 公立藤田病院組合議会全員協議会 | 議事日程等について | 選出議員 |
| 25 | 令和3年第3回公立藤田病院組合議会臨時議会 | 公立藤田総合病院職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について、令和3年度病院事業会計補正予算(第1号) | 選出議員 |
| | 福島県町村議会議長会要請活動 | ふくしまの復興・再生に関する要請 | 議 長 |
| 26 | 第2回桑折町半田財産区議会定例会 | 令和2年度桑折町半田財産区会計歳入歳出決算認定について | 監査委員 |
| | 第65回町村議会議長会全国大会 | 町村議会議長全国大会決議等に係る要請 | 議 長 |
| 28 | 例月出納検査 | 定期検査 | 監査委員 |
| | 広報広聴常任委員会 | 回収したアンケートの回答依頼先の仕分けについて | 選出委員 |
| 29 | JR桑折駅前イルミネーション点灯式 | JR桑折駅前イルミネーション点灯式 | 議 長 |
| | 議会運営委員会 | 12月定例会の議事日程等について、桑折町議会業務継続計画見直しについて | 選出委員 |
| 30 | 議会運営委員会 | 令和3年第7回桑折町議会臨時会臨時会議事日程等について | 選出委員 |
| | 議会全員協議会 | 令和3年第7回桑折町議会臨時会臨時会議事日程等について、提案内容の説明について | 全 議 員 |
| 3 | 令和3年第7回桑折町議会臨時会臨時会 | 桑折町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例、公立藤田病院組合議会議員選挙について、桑折町議会規則の一部を改正する規則 | 全 議 員 |
| | 広報広聴常任委員会 | 回収したアンケートの回答依頼先の仕分けについて | 選出委員 |
| 7 | 全国山城サミット桑折大会実行委員会委員長・副委員長会議 | 全国山城サミット桑折大会の開催結果について | 議 長 |
| | 議会全員協議会 | 議事日程等について、提案理由の説明、出資法人経営状況報告、町民研修センター「うぶかの郷」営業状況報告 | 全 議 員 |
| 8 | 令和3年第8回桑折町議会定例会 | 会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、行政報告、町長提案理由の説明、議案の説明 | 全 議 員 |
| | 議会全員協議会 | 議事日程等について | 全 議 員 |
| 9 | 令和3年第8回桑折町議会定例会 | 一般質問 | 全 議 員 |
| | 議会全員協議会 | 議事日程等について | 全 議 員 |
| 10 | 広報広聴常任委員会 | 議会だより編集委員について、常任委員会としてのアンケートへの回答内容について | 選出委員 |
| | 議会全員協議会 | 議事日程等について、追加議案の日程等について、半田財産区の運営形態について | 全 議 員 |
| 12 | 令和3年第8回桑折町議会定例会 | 条例制定1件、条例改正4件、補正予算3件審議採決 | 全 議 員 |
| | 議会運営委員会 | 議事日程及び追加議案等について、追加提出予定の案件について | 選出委員 |
| 13 | 総務文教常任委員会 | 常任委員会としてのアンケートへの回答内容について | 選出委員 |
| | 産業厚生常任委員会 | 常任委員会としてのアンケートへの回答内容について | 選出委員 |
| 13 | 広報広聴常任委員会 | 議会だより編集会議 | 選出委員 |

第7回 11/30(火) 期末手当の引き下げ

条例改正
町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
県人事委員会勧告に準じ、職員
の期末手当支給を常勤職員
(会計年度任用職員を含む)0・05
15月分、再任用職員0・05
月分引き下げるもの。
改定による支給総減額
▲約10,959千円

規則改正
町議会会議規則の一部を改正
欠席の届出の公務、傷病、出
産等
請願者の記載事項等

選挙
公立藤田総合病院組合議会
員の選挙
羽根田 八千代議員の病院議
会議員の辞職に伴い、公立藤田
総合病院組合規約第6条の規定
により、病院議会議員1名の選
挙を行うもの。
佐藤 榮三議員を選任

臨時会

議会提出
去る11月18日町表彰式におい
て、町議会議員12年以上在職者
斉藤 謙議員に、功績顕著とし
て、功労賞が贈られた。

功労表彰
去る11月18日町表彰式におい
て、町議会議員12年以上在職者
斉藤 謙議員に、功績顕著とし
て、功労賞が贈られた。

令和3年度「ピザスタ」売上・利用者状況報告 (上半期 4月～9月)

| 項目 | 内容等 | 令和3年度 (上半期) | 前年度 (上半期) | 比較増減 | 対前年比 |
|---------|--------|------------------------------------|----------------------------|---------------------------|-------------------------|
| レストラン | 来店者数 | 男 2,833人 女 5,265人 計 8,098人 | 3,414人 6,099人 9,513人 | ▲581人 ▲834人 ▲1,415人 | 83.0% 86.3% 85.1% |
| | 売上高 | 物産品売上 446,655円 飲食売上 19,768,001円 | 868,787円 21,737,823円 | ▲422,132円 ▲1,969,822円 | 51.4% 90.9% |
| | 事業仕入高 | 原材料費 5,999,247円 | 8,108,578円 | ▲2,109,331円 | 74.0% |
| 人件費支出 | 人件費 | 30.34% | 37.30% | ▲6.96% | 81.3% |
| | 体験事業 | ピザ作り体験 | 1回 | 1回 | 0回 |
| 体 験 事 業 | ピザ作り体験 | 1回 | 1回 | 0回 | 100.0% |
| | | 4人 | 4人 | 0人 | 100.0% |

損益計算書 (単位:円)

| 項 目 | 令和3年度 | 令和2年度 |
|--------------|-------|--------|
| 1 事業収益 | | |
| (1)公有地取得事業収益 | 0 | 0 |
| 2 事業原価 | 0 | 0 |
| 事業総利益 | 0 | 0 |
| 3 販売費及び一般管理費 | 1,320 | 7,277 |
| 事業損益 | 1,320 | ▲7,277 |
| 事業外収益 | 42 | 140 |
| (1)受取利息 | 42 | 140 |
| (2)雑収益 | 0 | 0 |
| 事業外費用 | | |
| (1)支払利息 | 0 | 0 |
| 経常損失 | 1,278 | ▲7,137 |
| 6 特別損失 | 0 | 0 |
| 当期純損失 | 1,278 | ▲7,137 |

土地開発公社桑折町事務所
令和3年度は事業執行状況報告書では、新
規事業は実施しておらず、特に問題はない。
規事業は実施しておらず、特に問題はない。
拡大していく。

町が出資している法人の経営状況報告
2020年2月以降、新型コ
ロナウイルス感染症の影響によ
り、福島県の非常事態宣言が発
出された。県内でも7月下旬か
ら急増し、当公社の影響も大き
く、六次化商品の出荷の停滞・
レストラン売り上げの減少等大
きく収益を低下させた。

質疑
組織体制図に役員の名前の
記載がなく、誰が役員になつて
いるかわからない記載の検討は。
A 組織体制図として作成して
いるので名前を記載していない
が今後、責任体制の明確化を図
ることを前提に検討する。
Q ピザスタの人件費が前年度
に比べ減少しているがその要因は。
A コロナ禍による時短営業に
よりピザスタスタッフの人件費
が減額となったことが要因だ。

Q 決算上、町からの補助金が
確実に入ることを前提として
いるのか。
A 営業成果拡大を図っている
が年間の営業実績を基に最終的
に不足分を補助金で調整する。
Q 至福のソルベを含む新たな
販路先の拡大が見込まれるとあ
るが販路先は確立されたか。
A 県関係の商談会にエント
リー審査が通った。今後、全国
規模の大きな商談につなげ販路
拡大していく。



意見書 婚姻制度の形骸化・非婚・少子化などの問題を少しでも解決するため 全会一致で採択

選択的夫婦別姓制度について国会審議を求める意見書

2018年2月に内閣府が公表した世論調査において、夫婦同姓も夫婦別姓も選べる「選択的夫婦別姓」を導入するための法改正に賛成・容認と答えた国民は66.9%となり、反対の29.3%を大きく上回りました。年代別に見ると、多くの人が初婚を迎える30～39歳における賛成・容認の割合は84.4%にのびります。また、同年3月20日の衆議院法務委員会において、夫婦同姓を義務づけている国は、世界でただ一国、日本だけであることを法務省が答弁しました。

世論の強い関心事であり、世界的な男女同権の潮流の中にあって、現在わが国では夫婦がそれぞれの姓を名乗り続けることが許されておられません。夫婦のどちらかが改姓をしなければ婚姻できない現制度の早急なる改正が必要と考えます。

婚姻制度の形骸化・非婚・少子化などの問題を少しでも

も解決するため、男女同権の理念に基づく「選択的夫婦別姓」の導入は急務といえます。

以上のことから「選択的夫婦別姓」制度のあり方について、早急なる国会審議を行うよう強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年12月13日

福島県伊達郡桑折町議会

(提出先)

内閣総理大臣

法務大臣

内閣府特命大臣(地方創生少子化対策男女共同参画)

編集後記

桑折町には、医師小野隆庵という方が1746年、隆庵34歳のときに桑折町西町にて医業を開業した。宝暦6年同町南側に居を移した。隆庵は医療活動の傍ら和漢の医書を多く残した。小野隆庵は医学のみならず山野の植物を採集し、植物標本を作って「採摘草本篇」という本も書いている(茂田士郎元福島医大学長談)。また、江戸幕府時代の中期に早くも信達地方の医学の祖ともいべき医師が存在したことは郷土の誇りともいっている。おそらく半田山へ登り多くの植物を採集し、地域住民の健康管理を一心に務めたものと推測します。よって、半田山は薬草の宝庫として駆け巡ったのではないのでしょうか。 斉藤 謙

■広報広聴常任委員会 編集委員

委員長 川名 静子 委員 斉藤 謙
副委員長 鈴木 隆志 委員 佐藤 榮三

まちの歳時記 ~薬草の宝庫、半田山~



議会だより

令和4年1月13日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 片平 秀雄
編集 議会広報広聴常任委員会
電話 (024)582-2113
印刷 株式会社日進堂印刷所

<http://www.town.koori.fukushima.jp>